

# はにわ通信

No.233 平成 26 (2014) 年 8 月号

こよみ  
日本の暦には、  
「新暦 (太陽暦)」と  
「旧暦 (太陰太陽暦)」  
の 2 つがあります♪



## 【「8月」の七夕】

今月行われる「年中行事 (毎年一定の時期に行われる行事)」に七夕があります。七夕とは「7月7日の夕方」を意味する言葉で、この日の夜に歌や願い事を書いた短冊を笹竹に飾って、牽牛星と織女星をお祭りする行事のことです。年中行事は、もともと旧暦<sup>\*1)</sup>によって運用されていました。今年8月2日が旧暦7月7日に当たるので、七夕は、本来は今月の行事となる訳です。

そもそも七夕は、次のような伝説に基づいて中国で行われていた風習でした。「天帝の計らいで結婚した牽牛と織女は、仲が良すぎて仕事を怠けたため天帝の怒りを買って、天の川の両岸に離ればなれにさせられてしまう。しかし一年に一度7月7日の夜にだけ、鵲が翼を並べて天の川に架けた橋を渡って会うことができる。」<sup>\*2)</sup>一方、日本には「棚機津女 (お盆に海や山の彼方からやって来る神ないしは祖霊を迎えるべく、機 (織機) で神衣を織る乙女)」の信仰がありました。奈良時代に中国から伝わった七夕は、日本固有の信仰と結びつくことで、江戸時代以降は民間にも広がっていくことになるのです。<sup>\*3)</sup>

松阪市には、七夕に縁の深い場所があります。それは松阪市星合町 (旧三雲町星合) です。ここには鵲橋と呼ばれる橋があり、その近くの波氏神社 (星合神社) には多奈波太姫 (天棚機姫命) が祭られています。『伊勢紀行』(1433年)等の古文書によると、かなり昔から七夕が祭られていました。<sup>\*4)</sup>今から250年ほど前、江戸時代も半ばを過ぎたころに書かれた『三国地誌』によれば、牽牛祠と織女祠があり、星合の浜でこの二星が交会するという言い伝えがあったそうです。<sup>\*5)</sup>

松阪市内には他にも様々な言い伝えや行事があります。自分が暮らす地域には、どのような言い伝えや行事があり、それにはどのような由来があるのでしょうか。今年の夏もあとわずか、それらを調べて昔の人々や郷土の歴史に思いを馳せたり、実際に行事に参加してみたいはかがでしょうか。(担当)

\*1) 旧暦 (太陰太陽暦) は明治5 (1872) 年まで使われていました。これは月 (太陰) の満ち欠けの周期を1ヶ月とし、更に1年間の太陽の動きを考えに入れることで、季節と日付の食い違いを出来るだけ少なくしようとする暦です。

\*2) DVD-ROM『世界大百科事典』第二版、1998年。

\*3) 『日本伝奇伝説大事典』角川書店、1986年、pp.574-575。『日本の年中行事百科』3(夏)、河出書房新社、1997年、pp.28-33。

\*4) 波氏神社前に設置してある「由緒書き」(2013年)より。 \*5) 『三雲町史』第一巻、2003年、p.835。

8月8日は旧暦7月にほぼ当たる月です。旧暦7月は七夕に因んで、「文月 (ふみづき・づづき)」と呼ばれています。松阪市文化財センターでは、8月24日 (今年の「文月」最後の日!) に夏季企画展「石と木」関連体験講座として、古代の手紙である「木簡」づくりを行います。

「文月」に因んで、ぜひ参加してみたいはかがでしょうか。



▲職員が作製した「木簡」の見本です!

★はにわ館夏季企画展「石と木」★  
関連体験講座

①古代のアクセサリ「勾玉」をつくろう  
②古代の手紙「木簡」をつくろう

【日時】 ①8月23日 (土) 13:30~14:30  
②8月24日 (日) 13:30~14:30

【場所】 松阪市文化財センター

【対象】 小学生 (小学校3年生以下は保護者同伴)

【定員】 各20人 (応募者多数の場合は抽選)

【参加費】 100円 (材料費)

【申込方法】 往復はがきに参加を希望する講座名、名前、学校名、学年、連絡先、電話番号を記入し、8月15日 (金) までに、郵送で松阪市文化財センター (〒515-0821 松阪市外五曲町1番地) へ申し込んでください。体験に参加される方全員のお名前を書いてください。

## 【夏の日のイメージは……】

松阪市文化財センターが平成8 (1996) 年にオープンした翌年の夏、当センターを会場にした、大きな



白布を藍で染めるワークショップにスタッフの一人として参加した。夏の空に子どもたちの歓声が広がり、楽しい時間を過ごした。風に舞う白布に不思議な浮遊感を覚え、軽やかな気持ちになった。白布に藍汁が放たれる、藍が空気にふれ淡く変わっていく。そして、白布が表情を持ち始める。まるで、生きているように藍が変化するように、ただ感嘆していた。

「Sense of wonder」を大切にしていきたいものだ。

あの日の子どもたちの歓声が鮮やかに甦ってくる。

当センターでは学校の夏休み中の企画として中学生ボランティアガイド (8月5日~8月10日) を行います。期間中はご来館いただいた方々とともに、中学生の活躍を応援していきたいと思っております。はにわ館では、7月19日から引き続き、企画展「石と木」を開催しています。

市民ギャラリーでは、「保育園児造形展」、「ユニセフ写真展」、「松阪美術協会展」、「西野子踊り展」と多彩な展覧があります。ご期待下さい。(所長)

### 文化財センター はにわ館 & ギャラリー 8月の催し物予定

8月の休館日は4日 (月)、11日 (月)、18日 (月)、25日 (月) です。  
開館時間は9時~17時です (入館は16時30分まで)。

【はにわ館】 入館料 100円 (18歳以下無料)

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■夏季企画展「石と木~何を作って、どう使う~」 8/31 (日) まで

【夏休み特別企画】

第1展示室 ■中学生ボランティアガイド \*実施時間帯は入館料無料

8/5 (火) ~ 8/8 (金) \*13:00 ~ 15:00

8/9 (土) ~ 8/10 (日) \*10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 15:00

【ギャラリー】 入場無料

第1・2・3G ■まつさかのほいくえん 園児造形展~まつさかのちっちゃなアーティストたち~

8/8 (金) ~ 8/13 (水) \*9:00 ~ 17:00 \*土・日は18:00まで

第3G ■ユニセフ写真パネル展「アフリカに必要なもの」~ナイジェリア・中央アフリカ共和国の現状~

8/20 (水) ~ 8/22 (金) \*9:00 ~ 16:00

第1・2G ■第71回松阪美術協会展 8/24 (日) ~ 8/31 (日) \*9:00 ~ 17:00 \*最終日は16:00まで

第3G ■無形民俗文化財 市指定20周年 西野子踊り展

8/26 (火) ~ 9/3 (水) \*10:00 ~ 16:00 \*最終日は12:00まで



バーコード読み取り  
(文化財センター情報)